（第二種郵便物認可）（京城郵便局扱）（朝治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十一年二月十八日

臺灣日日新報（夕刊）　二月十七日　一部二錢　定価一ヶ月金壹圓　夕刊　臺灣日日新報社　臺北市北門町二丁目四番地　電話若葉四〇〇番　臺灣日日新報社　臺北市北門町二丁目四番地　電話若葉四〇〇番

銘酒　忠勇

ボイル湖一帶を外蒙古兵が占據

二方面から大擧越境

【新京十六日發】滿洲國外交部當電に依れば外蒙古兵の不法越境の實相は左の通りである十五日早朝來外蒙古兵はボイル湖の西南オラホドガ及びハルハン廟東南の二方面より大擧越境し來りボイル湖を中心に附近一帶は外蒙兵雲集、完全に外蒙兵の爲め占據された

自衛手段の強硬決意

【新京十六日發】滿洲國外交部では十六日午後外蒙政府に對し十五日午前の不法越境に關する嚴重抗議を發すると共に即時外蒙兵の撤退を要求した、而して滿洲國當局では外蒙政府にして反省せざる時は自衛手段に出づる强固なる決意を爲すに至つた

ソ聯の不誠意

改善の跡なし

日獨協定說を流布して英、佛の同情を求む

和作、新聞に載かんとする感想に、日獨協定の成立せざりし事は眞に止むを得ざるものと信じ、又

證人として出廷
林大將が重大證言
法廷は水も洩さぬ警戒陣
緊張した相澤公判

【東京十七日發】相澤中佐に對する決死の公判は、十七日午前九時半、水田裁判長の指揮の下に開廷、十九日間にも亙る空前の大論戰の火蓋を切つて落された、この日午前十時五分より第二回公判開廷、證人として出廷を命ぜられた林大將は、定刻前から傍聽席の最前列に陣取つて開廷を待つてゐた、午前九時五十分、林大將は、警視廳の自動車で裁判所に到着、直ちに法廷に入つて、裁判長の訊問を待つてゐた、

【東京十七日發】相澤中佐に對する決死の公判は、十七日午前九時半、水田裁判長の指揮の下に開廷、十九日間にも亙る空前の大論戰の火蓋を切つて落された、この日午前十時五分より第二回公判開廷、證人として出廷を命ぜられた林大將は、定刻前から傍聽席の最前列に陣取つて開廷を待つてゐた、午前九時五十分、林大將は、警視廳の自動車で裁判所に到着、直ちに法廷に入つて、裁判長の訊問を待つてゐた、

【東京十七日發】林大將を證人としての取調べは、既に二時間餘に亘つたが、午後零時十八分終了、直ちに休憩に入つた、次回は二十二日午前十時より開廷されるが、當日も午前中林大將を證人として取調べる筈である、

【東京十七日發】林大將を證人としての取調べは、既に二時間餘に亘つたが、午後零時十八分終了、直ちに休憩に入つた、次回は二十二日午前十時より開廷されるが、當日も午前中林大將を證人として取調べる筈である、

眞崎大將も
次回に喚問か
林大將の證人としての取調べ
實に二時間に亙る

【東京十七日發】林大將を證人として取調べは、既に二時間餘に亘つたが、午後零時十八分終了、直ちに休憩に入つた、次回は二十二日午前十時より開廷されるが、當日も午前中林大將を證人として取調べる筈である、

【東京十七日發】林大將を證人として取調べは、既に二時間餘に亘つたが、午後零時十八分終了、直ちに休憩に入つた、次回は二十二日午前十時より開廷されるが、當日も午前中林大將を證人として取調べる筈である、

【東京十七日發】相澤中佐に對する決死の公判は、十七日午前九時半、水田裁判長の指揮の下に開廷、十九日間にも亙る空前の大論戰の火蓋を切つて落された、この日午前十時五分より第二回公判開廷、證人として出廷を命ぜられた林大將は、定刻前から傍聽席の最前列に陣取つて開廷を待つてゐた、午前九時五十分、林大將は、警視廳の自動車で裁判所に到着、直ちに法廷に入つて、裁判長の訊問を待つてゐた

昭和十一年二月十八日　東京日日新聞　第一万二千八百九十二號　（三）

紙衣祖師 (35)

吉川英治作
山村耕花畫

法敵篇

風やまず

四

醫師の遊說は、容易があつたらしい。

山は、わりあひに、夜の、（靜かさ）とは何んな夜へかう）といふ感覺に、好奇をもつたやうであつた。

だが、其には、七ケ條の掟文と、法統の護持文書が來てゐるし、その後から、法印聖人が、からして山を設いてゐるので、叡山の感情は、非常にやはらいで來たらうに見えた。

數くも、表面だけは。

だが、其には——遊ぼ——感覺として來てゐるのではない。

吉水の說法へ向つて、日毎夜毎つづいて來た、二の法敵があらはれた。

この人は、そこらにあるいはゆる「說法」とは違してちがふ、「說法師の祖」と稱する者がまつあるまいといふ人物であつた。

最初の人がかうだつたとすれば、その「其」は、思想界をどうさせる力があつた。

しかも、說法師はめつたに言說を弄さない人ではなかつた。

自說に對して、深く、說法を持に、確力とか、「說」とか、そんな事に執々しくこだわる人でも決してない。

その說法師が、數珠を持つて、吉水の說法に現れたといふのだ。

いつたい、その人の天職といふのは、あるいはその人の天職といふのは、何しろ、數珠にかつたものだ」

「吉水も、こんどは困つたらう。

「說法師だ。何といつても、これは吉水の說法にとつては、致命的な打擊だらう」

と、人々は云ひ合つた。

事實、明遍上人のこの說手乳があらはれてから、吉水說法の內部にも、かすかな說法の搖ぎが起しも、說法師たちが、この頃めつきり數が減つて來たのでもわかるし、又、吉水の說法の訪れも、目立つてゆくなつて來たことは事へない。

「說手だ。何といつても、これは吉水の說法にとつては、致命的な打擊だらう」

と、今まで說法してゐる各佛門の數義に絶つた抵抗で、說法の根本に、說法の數に出た。

それほど、明遍の學說には、強手とした佛教精神がこもつてゐたし、又、說法とした理論と、說法者說とも併せて持つてゐた。

說力や、說法、自己の位置を確實するために、ただ說法的に、吉水を押しつぶさうと試みる說山などの反說とは、それはまるで比較にならない眞劍な反說であつた。

この說法師の明遍上人である。

味趣

東洋の誇たる雅やかな雛遊び (下)

詩歌漫く曲水の宴や
飾人形の故事を尋ねて

西澤笛畝

支那の傳說として最も主人の遊びとして最も古い。

×

同時に、この川岸の遊びが「曲水の宴」と云ふ事を通んで支那から同じく日本に傳はれて來たのも面白い現象である。水上に盃を流し、それが自分の前を過ぎぬ中に、各自一章一歌を作つて、盃の中の酒を飲むのである。つまり酒宴と共に文學を樂しむと云ふ點が、主として風雅に傳はつたのである。

×

同時に、この川岸の遊びが「曲水の宴」と云ふ事を通んで支那から同じく日本に傳はれて來たのも面白い現象である。水上に盃を流し、それが自分の前を過ぎぬ中に、各自一章一歌を作つて、盃の中の酒を飲むのである。つまり酒宴と共に文學を樂しむと云ふ點が、主として風雅に傳はつたのである。

×

こんな風で當時の雛遊びは時を定めず遊んだものであり、殿中は今日の如き雛人形同樣の人々の姿を小さく作つて、これは誰、これは彼れと云ふやうに呼んで遊んだのであらう。それ故に、屋敷を作つて、その中に誰つて遊ぶなど云ふ點は、早くいへば今日供養の

×

殿氏物語りの中には可成り澤山に雛遊びの事が出て來るが、その中でも「末摘花の卷」の正月八日の條に「雛遊びし給ふ」とあり「紅葉の賀の卷」には屏風を作りて中に雛人形を飾るところや、犬君（女童名前）がこぼち破りければ云々と記されてゐる。これは正月元旦の事である。野分の卷の中には源氏の御子夕霧の朋の姫君の方へ昨夜の野分の御見舞に出てゐた源氏からかはりないかといふやうな言葉のやりとりをしてゐる場面がある。夕霧の卷にいふが時は皆八月になつてゐる。

×

こんな風で當時の雛遊びは時を定めず遊んだものであり、殿中は今日の如き雛人形同樣の人々の姿を小さく作つて、これは誰、これは彼れと云ふやうに呼んで遊んだのであらう。それ故に、屋敷を作つて、その中に誰つて遊ぶなど云ふ點は、早くいへば今日供養の

演藝

竹本勝玉の義太夫番組

四日目と五日目

▲東京竹本勝玉師の獨演（二十九年記念義太夫大會の四日目、五日目の番組は次の通り

十八日（火曜日）

春九（大阪）三勝半七酒屋の段（松竹）（關西日記（勝玉）妻入三代記（勝玉）千代萩（大阪）菅原傳授手習鑑（東京）千代萩八郎兵衛（勝玉）

十九日（水曜日）

御殿場（大阪）妹背山婦女庭訓（勝玉）（松竹）吉四（一口）合邦（勝玉）道行（松竹）一之谷嫩軍記（勝玉）熊谷陣屋（大阪）一之谷嫩軍記（勝玉）組討（文樂）

▲三と打ち、三と止めさせる（三）にて四三

△（三）を除外なら、甲、又は乙の內にて四三

【註】「三」との所は三六桑となつて置るので內（三）と四道することは出來ぬ、又（三）と打つても（三）と止めないならば矢張り四三で打つことは出來ぬ、然るに（三）に依つて甲「四二」所に四三が見える良き此の二手ぎとしては（三）の外對局にない所が此の（三）と打つことに依つて（三）の第の縱の二點に影響を及ぼすことゝなり茲に完全なる四三を生ずるのである、和本題は出題の際左下方にある白黑の二珠が脫落してゐたので審査は誤題に依つて行つたものです

正解者　市河郎（靜岡）高橋彩（大安）阪東秀（德島）藤岡金（盛岡）矢頭末記（靜中）郡坤仔（萬華）吉川二郎（萬華）

最近著の新刊

▲東邦經濟（二月號）▲女子文苑（二月號）▲婦人俱樂部（二月號）▲婦人公論（二月號）▲婦人之友（二月號）▲婦人畫報（二月號）▲婦人倶樂部（二月號）▲婦人之國

臺灣人入學難

醫專減半是其一例　得應試醫大者無多

臺北帝國大學。如既報。決自四月起。開設醫科大學。初年度先設七講座。致授業已任命。十五日一部分。來臺地備。來年度乃再設藥物學講座（其他）。昭和十四年度。增至二十四講座。茲欲瞭集新入生。大學部及予科部各四十名。大學部四十名中。臺北高等學校卒業生志願者五分之一。已有五十二名。內地志願者五十名。今後當再增加。予科部即從來之醫專程度。既往每年收集八十名。內臺人各得半數。茲擬增加定員二十名。中學校出身者。入學更難。而本島人之高等學校生徒無多。是即臺灣人之志願學醫者。又加一重之難關也云。

臺博協贊會　最後會議

臺灣博覽會。各部殘務整理。大體已告一段落。定於四月十八日午前十時。假總督府會議室。開理事會。報告決算。及其他諸般事項。

臺北親和會　屏東支部總會

臺北親和會。屏東支部。定於昭和十一年第五回通常總會。去十八日。午後二時起。開於屏東第一樓。族長。首由張金土氏。任開會辭。次支部長。林欽生氏。報告昭和十年度會務。及收支決算。林支部長。介紹新加入會員。會長氏。說明內容。提出諸般同意。散會。

臺北親和會

臺北親和會。林清玉氏。起立昭和十一年度。事業計劃。並收支豫算承認之件。無事通過。於是興業銀行。會長林欽生氏。當選。理事。即林氏。及金土氏。再生。呂氏。張金土氏。林清場。楊明。林滋培。蔡顧等氏。評議員。任命。成紳百名。來賓。一任議長指名。

屏東支部總會

屏東臺北親和會。林清玉氏。起立昭和十一年度。事業計劃。並收支豫算承認之件。無事通過。於是興業銀行。會長林欽生氏。當選。理事。即林氏。及金土氏。再生。呂氏。張金土氏。林清場。楊明。林滋培。蔡顧等氏。評議員。任命。成紳百名。來賓。一任議長指名。

臺北親和會

臺北親和會。屏東支部總會。林清玉氏。起立昭和十一年度。事業計劃。並收支豫算承認之件。無事通過。於是興業銀行。會長林欽生氏。當選。理事。即林氏。及金土氏。再生。呂氏。張金土氏。林清場。楊明。林滋培。蔡顧等氏。評議員。任命。成紳百名。來賓。一任議長指名。

臺博協贊會　最後會議

臺灣博覽會。各部殘務整理。大體已告一段落。定於四月十八日午前十時。假總督府會議室。開理事會。報告決算。及其他諸般事項。

臺北市人口　廿八萬餘

臺北市。役所調查。昭和十年十二月末現在。臺北市戶數及人口。前者六萬五千六百四十三戶。後者二十八萬七千八百四十八人。北昭和九年末。戶數增加二千五百六十二戶。人口增四千七百六十一人。而從前人口增加率。每年多至一萬人。然客年僅例年之半數。據市當局。調查客年學試驗。去十六日。午前八時起。在該校及屏東臺東馬公各試驗場。同時舉行。募集人數。普通科及講習科。各四十名。而受試驗者。數倍於募集人員。即普通科超過十八倍。講習科六倍許。僅臺南本校。亦達五百七十五名。十七日繼續試驗。而學科及第者。按二十七、八日頃發表。然後課以第二次試驗。即訂來月六七兩日。更有口答試問及體格檢查云。

臺南師範入學難　受驗生約近千名　爲募集人員之十八倍

臺南師範學校。本年度入學試驗。去十六日午前八時起。在該校及屏東臺東馬公各試驗場。同時舉行。募集人數。普通科及講習科。各四十名。而受試驗者。數倍於募集人員。即普通科超過十八倍。講習科六倍許。僅臺南本校。亦達五百七十五名。十七日繼續試驗。而學科及第者。按二十七、八日頃發表。然後課以第二次試驗。即訂來月六七兩日。更有口答試問及體格檢查云。

臺中師範入學亦難

臺中師範。昔道科入學試驗。去十六日午前九時起。在該校舉行。募集人員四十名。應試者四百八十七名云。

南投郡草屯庄　開協議會

南投郡草屯庄。第三十六回協議會。去十五日午前九時起。開于庄役場會議室。臨監官。眞郡守。岩崎慮務。鈴木街庄係。庄民傍聽者。殆滿員。議員二十名中。李春盛。黃春帆。小安三氏欠席。渥美庄長開會辭。次報告出缺席會員氏名。次盛灣語發言會議錄。署名者。指名洪江河。西山兩氏。後庄長庄治概況及豫算編成方針演說。互小半時。畢書記報告議事日程。後進入第一號議案。昭和十一年度草屯庄歲入歲出豫算。及庄稅令中改正。及組合費賦課方法。及庄有財產及遺贈寄附採納。及庄有財產及遺贈寄附採納。及庄有財產及遺贈寄附採納。

臺東火燒島　建國祭記念　籌建神社

臺東廳下火燒島。迄今尚未建設神社。於祝祭日諸行事。感感不便。者希建設普及敬神思想。將爲建國祭。記念事業。由內務局。社會課。主任其他臨時。派員出張。實地調查。決定候補地。及概算。經費等諸事宜。愼重考究。自行立案。成一新案。二者對比。我當行利。然政友會出守勢。用意周到。候補者非常早出。頗爲有利。又政友會。同室操戈。時不絕。我當則當內統制。常見保全。而活動亦靈敏。此等觀點。我黨亦爲有利。當選確實者。可百九十名。此外往來當選圈內者。亦有四五十名。成紳百名。

臺東水產試驗船　在紅頭嶼發見鮪群　歸港後整備漁具再往探查

臺東廳水產會試驗船開陽丸。爲探查新漁場。與座技手同乘。去二日由新港出帆。十日安歸。報告如下。該船以鰹鰮及紅頭嶼。火燒島等。爲操業區域。試驗延繩漁業。此間操業日數三日半。成績良好。漁獲物爲旗魚二。大鰹二十二。鮪十六。大鰹三十。鯖九。鰤二十。約值三百五十圓。又在紅頭嶼近海。遭遇大鮪群游。然因漁具不備。不得捕獲。故歸港後。急整備漁具。隨即再赴該近海。其成績如何。當局頗爲注視。或得爲鮪魚新漁場。亦未可知云。

花壇庄協議會　原案可決

彰化郡花壇庄。第二十三回豫算協議會。去十六日午前九時。開于役場。議員十四名。全部出席。稱督官。州高橋地方課長。稱監州屬。拔非郡守。比江島庶務課長。衛藤官。里兩街庄係臨席。首由笹木庄長致歡迎辭。次說明豫算。總額十八萬七千八百九十九圓。歲入歲出。各款項。逐一說明。質疑。答辯。終決定原案可決。

法院築港軍隊飛行場　爲期實現開座談會　決定設期成同盟會

新竹州民多年熱望之法院。指名官野。松野。清水。昇格。舊港築港。軍隊駐鄭大明。張式毅。李世寨。屯。飛行場設置諸問題。諸氏。該事務等。去十六日午後二時。在公地方課內云。會堂。集府評。州協。市會。開座談會。各開陳意見。議員。商工會議所幹部三終決定設。立期成同盟會。十餘名。爲期前記諸問題。並關具體的方策。質現。並關具體的方策。

臺東大武蕃地　配付苗木　獎勵栽柑

臺東大武支廳下蕃地。適于栽種柑橘。殊如大板僱外二處。經自二年前。即配付優良苗木。指導試作成績良好。將來不僅爲蕃人授產上。且足以振興地方產業。茲更配布苗木一千本。於去十二日。一齊發送。又爲斯業發展計。此後要完備南礮自動車路圖進出于西部市場云。

農夫巡田　起癲癇溺死

基隆郡貢寮庄枋腳人。黃永保之長男。農夫黃元東。年四十一。去十五日午後一時半。在自家附近。巡視水田中。突起癲癇症。溺死于水田中。當局接報。係官檢視後。交家族。

藝妓與情夫　逃走來臺　現照會內地

內臺航路高千穗丸。去十五日午後抵基隆港。水上署保利。李兩刑事。臨檢船內。發見一對可疑之內地人男女。帶歸署內查究。男自承爲奈川縣。足柄下郡湯河原町。中西旅館雇人。案伏廣告。年三十一。女爲同郡某旅亭藝妓龍見花子。年三十二。兩人自五年前。關係以來。案伏最近。阮襲羞澁。且花子之嫖客亦漸少。致負債甚多。無力償還。乃乘隙脫出。攜平來臺。現由同署署員。護送內地。

新營郡漢藥業　組合總會

新營郡漢藥種組合定期總會。去十五日上午十一時起。開于郡公會堂。監督瀧野警察課長。熊井州技手。川原係主任其他臨席。組合長沈海炎氏就議長席。報告前年度收支決算。及組合員增減。次磋商禁止下等藥品。及實行足枠。組合費賦課期限繳納。課長訓示。後有熊井技手就漢藥之性質用途。毒藥處理方法等講話。下午一時半閉會。旋開委員會。二時半散會。

新營鹽水兩街　水道工事

新營郡新營。鹽水兩街水道工事費三十七萬圓。其中國庫州費街民各負擔三分之一。蓋既受當局認可。欲創設新營鹽水兩街水道組合。當局之認可延緩。未能照豫定興工。現待初年度借入金五萬八千三百圓認可。此後要完備南礮自動車路圖進出于西部市場云。

新豐歸仁農校　建立神社　十八日鎭座式

新豐郡歸仁農村學校。爲鼓吹學生及一般人民敬神觀念。前在該校庭。建一神社。業既落成。定十八日午前九時半。由土光郡守臨場之下。舉行鎭座式。又該校與爲發揚農民模範之二宮尊德翁盛德。特于校庭建立翁之銅像。亦已告竣。特於是日。行開幕典。禮。經東遊關係官民。參與其盛云。

大甲震災　建記念堂　按四月中竣工

臺中州大甲郡當局。爲合祀部下被大震災而死者。四百十餘名之生靈。特設震災紀念堂於被害最大之大甲街內。總工費參千圓。即州交付金五百圓。清水街負擔一千二百圓。其他左記七街庄。合計負擔千二百圓。其他左記七街庄。合計負擔千三百圓。其分擔金額如左。

▲大甲街三二〇圓　▲沙鹿庄二六〇圓　▲梧棲街二〇〇圓　▲外埔庄一五〇圓　▲大肚庄一二〇圓　▲大安庄一〇〇圓　右現在各街庄。極力募金中。而該庄長。象它。上旬竣工云。

兩無賴格鬪　罰拘十五天

嘉義市菜町人陳番。年二十八。鄭正順。年二十一。右兩名。去十五日午後十一時半。在市內西門町六丁目遊廓遊。春閣前路上。互誇張勢力。後各持凶器格鬪。適嘉義署。巡查派遣。署訊問後。各罰拘一。

斗六狂人砍死其父　其弟亦被所傷入院

臺南州斗六郡斗六街竹圍。七時。發大溪指南下列車。是夜在彰化一泊。十六日赴北港一泊。按十七日歸途。開街後一時半。在市內。西門町六。有四五十名。成紳百名。

現地戰術

臺南軍縮理部特校。十六日來決。在公會堂一泊。十七日經桃園北上。

斗六　舉祈年祭

臺南州斗六神社。月十七日。午前八時。在社前。由齋藤郡守。永田山田兩課長以下各團代表參列。嚴肅裡。祈年祭。午前中演畢。午後一時編開奏樂會。至四時散會。

深耕犁入

臺南州斗六郡。去十五日午後二時。在斗六街築公作業現場。由齋藤郡守。永田山田兩課長。齋藤郡守。永田山田兩課長。稱街長及諸來賓。會社方面。有永非支社理事。寺岡斗六派驗所派務主任。同山本農務主任。臨席之下。舉行深耕犁之式。先由山本農務主任發起。次之齋藤郡守代表演說。一同參觀作業實況。大移開祝宴。深耕犁百二百二十五馬力十時開。得深耕四甲步。此次會社。按豆粕八萬圓購入該具將。當局援助。擬對斗六。古坑管內看天田三千餘甲。漸次施行深耕。開土地之改良也。

屯墾勢壯團

臺南州斗六郡新開庄。于國語傳習所。

軍司令官　宴花蓮港官民　記念館

新川軍司令官。于臺東及玉里兩中隊檢閱後。十六日午後四時十五分。列車抵花蓮港。庭訪問同地。新任鈴木支廳長。由是親睦。其他。

時半開會。總督以下。官民出席者多數。至九時過散會。

臺博協贊會　最後會議

臺灣博覽會。各部殘務整理。大體已告一段落。定於四月十八日午前十時。假總督府會議室。開理事會。報告決算。及其他諸般事項。

臺北親和會　屏東支部總會

臺北親和會。屏東支部。定於昭和十一年第五回通常總會。去十八日。午後二時起。開於屏東第一樓。族長。首由張金土氏。任開會辭。次支部長。林欽生氏。報告昭和十年度會務。及收支決算。林支部長。介紹新加入會員。會長氏。說明內容。提出諸般同意。散會。

臺北親和會

臺北親和會。屏東支部總會。林清玉氏。起立昭和十一年度。事業計劃。並收支豫算承認之件。無事通過。於是興業銀行。會長林欽生氏。當選。理事。即林氏。及金土氏。再生。呂氏。張金土氏。林清場。楊明。林滋培。蔡顧等氏。評議員。任命。成紳百名。來賓。一任議長指名。

臺博協贊會　最後會議

臺灣博覽會。各部殘務整理。大體已告一段落。定於四月十八日午前十時。假總督府會議室。開理事會。報告決算。及其他諸般事項。

臺北市人口　廿八萬餘

臺北市。役所調查。昭和十年十二月末現在。臺北市戶數及人口。前者六萬五千六百四十三戶。後者二十八萬七千八百四十八人。北昭和九年末。戶數增加二千五百六十二戶。人口增四千七百六十一人。而從前人口增加率。每年多至一萬人。然客年僅例年之半數。據市當局。調查客年學試驗。去十六日午前八時起。在該校及屏東臺東馬公各試驗場。同時舉行。募集人數。普通科及講習科。各四十名。而受試驗者。數倍於募集人員。即普通科超過十八倍。講習科六倍許。僅臺南本校。亦達五百七十五名。十七日繼續試驗。而學科及第者。按二十七、八日頃發表。然後課以第二次試驗。即訂來月六七兩日。更有口答試問及體格檢查云。

臺南師範入學難　受驗生約近千名　爲募集人員之十八倍

臺南師範學校。本年度入學試驗。去十六日午前八時起。在該校及屏東臺東馬公各試驗場。同時舉行。募集人數。普通科及講習科。各四十名。而受試驗者。數倍於募集人員。即普通科超過十八倍。講習科六倍許。僅臺南本校。亦達五百七十五名。十七日繼續試驗。而學科及第者。按二十七、八日頃發表。然後課以第二次試驗。即訂來月六七兩日。更有口答試問及體格檢查云。

臺中師範入學亦難

臺中師範。昔道科入學試驗。去十六日午前九時起。在該校舉行。募集人員四十名。應試者四百八十七名云。

南投郡草屯庄　開協議會

南投郡草屯庄。第三十六回協議會。去十五日午前九時起。開于庄役場會議室。臨監官。眞郡守。岩崎慮務。鈴木街庄係。庄民傍聽者。殆滿員。議員二十名中。李春盛。黃春帆。小安三氏欠席。渥美庄長開會辭。次報告出缺席會員氏名。次盛灣語發言會議錄。署名者。指名洪江河。西山兩氏。後庄長庄治概況及豫算編成方針演說。互小半時。畢書記報告議事日程。後進入第一號議案。昭和十一年度草屯庄歲入歲出豫算。及庄稅令中改正。及組合費賦課方法。及庄有財產及遺贈寄附採納。及庄有財產及遺贈寄附採納。及庄有財產及遺贈寄附採納。

臺東火燒島　建國祭記念　籌建神社

臺東廳下火燒島。迄今尚未建設神社。於祝祭日諸行事。感感不便。者希建設普及敬神思想。將爲建國祭。記念事業。由內務局。社會課。主任其他臨時。派員出張。實地調查。決定候補地。及概算。經費等諸事宜。愼重考究。自行立案。成一新案。二者對比。我當行利。然政友會出守勢。用意周到。候補者非常早出。頗爲有利。又政友會。同室操戈。時不絕。我當則當內統制。常見保全。而活動亦靈敏。此等觀點。我黨亦爲有利。當選確實者。可百九十名。此外往來當選圈內者。亦有四五十名。成紳百名。

臺東水產試驗船　在紅頭嶼發見鮪群　歸港後整備漁具再往探查

臺東廳水產會試驗船開陽丸。爲探查新漁場。與座技手同乘。去二日由新港出帆。十日安歸。報告如下。該船以鰹鰮及紅頭嶼。火燒島等。爲操業區域。試驗延繩漁業。此間操業日數三日半。成績良好。漁獲物爲旗魚二。大鰹二十二。鮪十六。大鰹三十。鯖九。鰤二十。約值三百五十圓。又在紅頭嶼近海。遭遇大鮪群游。然因漁具不備。不得捕獲。故歸港後。急整備漁具。隨即再赴該近海。其成績如何。當局頗爲注視。或得爲鮪魚新漁場。亦未可知云。

花壇庄協議會　原案可決

彰化郡花壇庄。第二十三回豫算協議會。去十六日午前九時。開于役場。議員十四名。全部出席。稱督官。州高橋地方課長。稱監州屬。拔非郡守。比江島庶務課長。衛藤官。里兩街庄係臨席。首由笹木庄長致歡迎辭。次說明豫算。總額十八萬七千八百九十九圓。歲入歲出。各款項。逐一說明。質疑。答辯。終決定原案可決。

法院築港軍隊飛行場　爲期實現開座談會　決定設期成同盟會

新竹州民多年熱望之法院。指名官野。松野。清水。昇格。舊港築港。軍隊駐鄭大明。張式毅。李世寨。屯。飛行場設置諸問題。諸氏。該事務等。去十六日午後二時。在公地方課內云。會堂。集府評。州協。市會。開座談會。各開陳意見。議員。商工會議所幹部三終決定設。立期成同盟會。十餘名。爲期前記諸問題。並關具體的方策。質現。並關具體的方策。

臺東大武蕃地　配付苗木　獎勵栽柑

臺東大武支廳下蕃地。適于栽種柑橘。殊如大板僱外二處。經自二年前。即配付優良苗木。指導試作成績良好。將來不僅爲蕃人授產上。且足以振興地方產業。茲更配布苗木一千本。於去十二日。一齊發送。又爲斯業發展計。此後要完備南礮自動車路圖進出于西部市場云。

農夫巡田　起癲癇溺死

基隆郡貢寮庄枋腳人。黃永保之長男。農夫黃元東。年四十一。去十五日午後一時半。在自家附近。巡視水田中。突起癲癇症。溺死于水田中。當局接報。係官檢視後。交家族。

藝妓與情夫　逃走來臺　現照會內地

內臺航路高千穗丸。去十五日午後抵基隆港。水上署保利。李兩刑事。臨檢船內。發見一對可疑之內地人男女。帶歸署內查究。男自承爲奈川縣。足柄下郡湯河原町。中西旅館雇人。案伏廣告。年三十一。女爲同郡某旅亭藝妓龍見花子。年三十二。兩人自五年前。關係以來。案伏最近。阮襲羞澁。且花子之嫖客亦漸少。致負債甚多。無力償還。乃乘隙脫出。攜平來臺。現由同署署員。護送內地。

新營郡漢藥業　組合總會

新營郡漢藥種組合定期總會。去十五日上午十一時起。開于郡公會堂。監督瀧野警察課長。熊井州技手。川原係主任其他臨席。組合長沈海炎氏就議長席。報告前年度收支決算。及組合員增減。次磋商禁止下等藥品。及實行足枠。組合費賦課期限繳納。課長訓示。後有熊井技手就漢藥之性質用途。毒藥處理方法等講話。下午一時半閉會。旋開委員會。二時半散會。

新營鹽水兩街　水道工事

新營郡新營。鹽水兩街水道工事費三十七萬圓。其中國庫州費街民各負擔三分之一。蓋既受當局認可。欲創設新營鹽水兩街水道組合。當局之認可延緩。未能照豫定興工。現待初年度借入金五萬八千三百圓認可。此後要完備南礮自動車路圖進出于西部市場云。

新豐歸仁農校　建立神社　十八日鎭座式

新豐郡歸仁農村學校。爲鼓吹學生及一般人民敬神觀念。前在該校庭。建一神社。業既落成。定十八日午前九時半。由土光郡守臨場之下。舉行鎭座式。又該校與爲發揚農民模範之二宮尊德翁盛德。特于校庭建立翁之銅像。亦已告竣。特於是日。行開幕典。禮。經東遊關係官民。參與其盛云。

大甲震災　建記念堂　按四月中竣工

臺中州大甲郡當局。爲合祀部下被大震災而死者。四百十餘名之生靈。特設震災紀念堂於被害最大之大甲街內。總工費參千圓。即州交付金五百圓。清水街負擔一千二百圓。其他左記七街庄。合計負擔千二百圓。其他左記七街庄。合計負擔千三百圓。其分擔金額如左。

▲大甲街三二〇圓　▲沙鹿庄二六〇圓　▲梧棲街二〇〇圓　▲外埔庄一五〇圓　▲大肚庄一二〇圓　右現在各街庄。極力募金中。而該庄長。象它。上旬竣工云。

兩無賴格鬪　罰拘十五天

嘉義市菜町人陳番。年二十八。鄭正順。年二十一。右兩名。去十五日午後十一時半。在市內西門町六丁目遊廓遊。春閣前路上。互誇張勢力。後各持凶器格鬪。適嘉義署。巡查派遣。署訊問後。各罰拘一。

斗六狂人砍死其父　其弟亦被所傷入院

臺南州斗六郡斗六街竹圍。七時。發大溪指南下列車。是夜在彰化一泊。十六日赴北港一泊。按十七日歸途。開街後一時半。在市內。西門町六。有四五十名。成紳百名。

現地戰術

臺南軍縮理部特校。十六日來決。在公會堂一泊。十七日經桃園北上。

斗六　舉祈年祭

臺南州斗六神社。月十七日。午前八時。在社前。由齋藤郡守。永田山田兩課長以下各團代表參列。嚴肅裡。祈年祭。午前中演畢。午後一時編開奏樂會。至四時散會。

深耕犁入

臺南州斗六郡。去十五日午後二時。在斗六街築公作業現場。由齋藤郡守。永田山田兩課長。齋藤郡守。永田山田兩課長。稱街長及諸來賓。會社方面。有永非支社理事。寺岡斗六派驗所派務主任。同山本農務主任。臨席之下。舉行深耕犁之式。先由山本農務主任發起。次之齋藤郡守代表演說。一同參觀作業實況。大移開祝宴。深耕犁百二百二十五馬力十時開。得深耕四甲步。此次會社。按豆粕八萬圓購入該具將。當局援助。擬對斗六。古坑管內看天田三千餘甲。漸次施行深耕。開土地之改良也。

屯墾勢壯團

臺南州斗六郡新開庄。于國語傳習所。

軍司令官　宴花蓮港官民　記念館

新川軍司令官。于臺東及玉里兩中隊檢閱後。十六日午後四時十五分。列車抵花蓮港。庭訪問同地。新任鈴木支廳長。由是親睦。其他。

時半開會。總督以下。官民出席者多數。至九時過散會。

臺灣日日新報　昭和十一年二月十八日　（五）

臺灣人入學難　醫專減半是其一例　得應試醫大者無多

臺北帝國大學。如既報。決自四月起。開設醫科大學。初年度先設七講座。致授業已任命。十五日一部分。來臺地備。來年度乃再設藥物學講座（其他）。昭和十四年度。增至二十四講座。茲欲瞭集新入生。大學部及予科部各四十名。大學部四十名中。臺北高等學校卒業生志願者五分之一。已有五十二名。內地志願者五十名。今後當再增加。予科部即從來之醫專程度。既往每年收集八十名。內臺人各得半數。茲擬增加定員二十名。中學校出身者。入學更難。而本島人之高等學校生徒無多。是即臺灣人之志願學醫者。又加一重之難關也云。

臺博協贊會　最後會議

臺灣博覽會。各部殘務整理。大體已告一段落。定於四月十八日午前十時。假總督府會議室。開理事會。報告決算。及其他諸般事項。

臺北親和會　屏東支部總會

臺北親和會。屏東支部。定於昭和十一年第五回通常總會。去十八日。午後二時起。開於屏東第一樓。族長。首由張金土氏。任開會辭。次支部長。林欽生氏。報告昭和十年度會務。及收支決算。林支部長。介紹新加入會員。會長氏。說明內容。提出諸般同意。散會。

臺北親和會

臺北親和會。屏東支部總會。林清玉氏。起立昭和十一年度。事業計劃。並收支豫算承認之件。無事通過。於是興業銀行。會長林欽生氏。當選。理事。即林氏。及金土氏。再生。呂氏。張金土氏。林清場。楊明。林滋培。蔡顧等氏。評議員。任命。成紳百名。來賓。一任議長指名。

臺博協贊會　最後會議

臺灣博覽會。各部殘務整理。大體已告一段落。定於四月十八日午前十時。假總督府會議室。開理事會。報告決算。及其他諸般事項。

臺北市人口　廿八萬餘

臺北市。役所調查。昭和十年十二月末現在。臺北市戶數及人口。前者六萬五千六百四十三戶。後者二十八萬七千八百四十八人。北昭和九年末。戶數增加二千五百六十二戶。人口增四千七百六十一人。而從前人口增加率。每年多至一萬人。然客年僅例年之半數。據市當局。調查客年學試驗。去十六日午前八時起。在該校及屏東臺東馬公各試驗場。同時舉行。募集人數。普通科及講習科。各四十名。而受試驗者。數倍於募集人員。即普通科超過十八倍。講習科六倍許。僅臺南本校。亦達五百七十五名。十七日繼續試驗。而學科及第者。按二十七、八日頃發表。然後課以第二次試驗。即訂來月六七兩日。更有口答試問及體格檢查云。

臺南師範入學難　受驗生約近千名　爲募集人員之十八倍

臺南師範學校。本年度入學試驗。去十六日午前八時起。在該校及屏東臺東馬公各試驗場。同時舉行。募集人數。普通科及講習科。各四十名。而受試驗者。數倍於募集人員。即普通科超過十八倍。講習科六倍許。僅臺南本校。亦達五百七十五名。十七日繼續試驗。而學科及第者。按二十七、八日頃發表。然後課以第二次試驗。即訂來月六七兩日。更有口答試問及體格檢查云。

臺中師範入學亦難

臺中師範。昔道科入學試驗。去十六日午前九時起。在該校舉行。募集人員四十名。應試者四百八十七名云。

南投郡草屯庄　開協議會

南投郡草屯庄。第三十六回協議會。去十五日午前九時起。開于庄役場會議室。臨監官。眞郡守。岩崎慮務。鈴木街庄係。庄民傍聽者。殆滿員。議員二十名中。李春盛。黃春帆。小安三氏欠席。渥美庄長開會辭。次報告出缺席會員氏名。次盛灣語發言會議錄。署名者。指名洪江河。西山兩氏。後庄長庄治概況及豫算編成方針演說。互小半時。畢書記報告議事日程。後進入第一號議案。昭和十一年度草屯庄歲入歲出豫算。及庄稅令中改正。及組合費賦課方法。及庄有財產及遺贈寄附採納。及庄有財產及遺贈寄附採納。及庄有財產及遺贈寄附採納。

臺東火燒島　建國祭記念　籌建神社

臺東廳下火燒島。迄今尚未建設神社。於祝祭日諸行事。感感不便。者希建設普及敬神思想。將爲建國祭。記念事業。由內務局。社會課。主任其他臨時。派員出張。實地調查。決定候補地。及概算。經費等諸事宜。愼重考究。自行立案。成一新案。二者對比。我當行利。然政友會出守勢。用意周到。候補者非常早出。頗爲有利。又政友會。同室操戈。時不絕。我當則當內統制。常見保全。而活動亦靈敏。此等觀點。我黨亦爲有利。當選確實者。可百九十名。此外往來當選圈內者。亦有四五十名。成紳百名。

臺東水產試驗船　在紅頭嶼發見鮪群　歸港後整備漁具再往探查

臺東廳水產會試驗船開陽丸。爲探查新漁場。與座技手同乘。去二日由新港出帆。十日安歸。報告如下。該船以鰹鰮及紅頭嶼。火燒島等。爲操業區域。試驗延繩漁業。此間操業日數三日半。成績良好。漁獲物爲旗魚二。大鰹二十二。鮪十六。大鰹三十。鯖九。鰤二十。約值三百五十圓。又在紅頭嶼近海。遭遇大鮪群游。然因漁具不備。不得捕獲。故歸港後。急整備漁具。隨即再赴該近海。其成績如何。當局頗爲注視。或得爲鮪魚新漁場。亦未可知云。

花壇庄協議會　原案可決

彰化郡花壇庄。第二十三回豫算協議會。去十六日午前九時。開于役場。議員十四名。全部出席。稱督官。州高橋地方課長。稱監州屬。拔非郡守。比江島庶務課長。衛藤官。里兩街庄係臨席。首由笹木庄長致歡迎辭。次說明豫算。總額十八萬七千八百九十九圓。歲入歲出。各款項。逐一說明。質疑。答辯。終決定原案可決。

法院築港軍隊飛行場　爲期實現開座談會　決定設期成同盟會

新竹州民多年熱望之法院。指名官野。松野。清水。昇格。舊港築港。軍隊駐鄭大明。張式毅。李世寨。屯。飛行場設置諸問題。諸氏。該事務等。去十六日午後二時。在公地方課內云。會堂。集府評。州協。市會。開座談會。各開陳意見。議員。商工會議所幹部三終決定設。立期成同盟會。十餘名。爲期前記諸問題。並關具體的方策。質現。並關具體的方策。

臺東大武蕃地　配付苗木　獎勵栽柑

臺東大武支廳下蕃地。適于栽種柑橘。殊如大板僱外二處。經自二年前。即配付優良苗木。指導試作成績良好。將來不僅爲蕃人授產上。且足以振興地方產業。茲更配布苗木一千本。於去十二日。一齊發送。又爲斯業發展計。此後要完備南礮自動車路圖進出于西部市場云。

農夫巡田　起癲癇溺死

基隆郡貢寮庄枋腳人。黃永保之長男。農夫黃元東。年四十一。去十五日午後一時半。在自家附近。巡視水田中。突起癲癇症。溺死于水田中。當局接報。係官檢視後。交家族。

藝妓與情夫　逃走來臺　現照會內地

內臺航路高千穗丸。去十五日午後抵基隆港。水上署保利。李兩刑事。臨檢船內。發見一對可疑之內地人男女。帶歸署內查究。男自承爲奈川縣。足柄下郡湯河原町。中西旅館雇人。案伏廣告。年三十一。女爲同郡某旅亭藝妓龍見花子。年三十二。兩人自五年前。關係以來。案伏最近。阮襲羞澁。且花子之嫖客亦漸少。致負債甚多。無力償還。乃乘隙脫出。攜平來臺。現由同署署員。護送內地。

新營郡漢藥業　組合總會

新營郡漢藥種組合定期總會。去十五日上午十一時起。開于郡公會堂。監督瀧野警察課長。熊井州技手。川原係主任其他臨席。組合長沈海炎氏就議長席。報告前年度收支決算。及組合員增減。次磋商禁止下等藥品。及實行足枠。組合費賦課期限繳納。課長訓示。後有熊井技手就漢藥之性質用途。毒藥處理方法等講話。下午一時半閉會。旋開委員會。二時半散會。

新營鹽水兩街　水道工事

新營郡新營。鹽水兩街水道工事費三十七萬圓。其中國庫州費街民各負擔三分之一。蓋既受當局認可。欲創設新營鹽水兩街水道組合。當局之認可延緩。未能照豫定興工。現待初年度借入金五萬八千三百圓認可。此後要完備南礮自動車路圖進出于西部市場云。

新豐歸仁農校　建立神社　十八日鎭座式

新豐郡歸仁農村學校。爲鼓吹學生及一般人民敬神觀念。前在該校庭。建一神社。業既落成。定十八日午前九時半。由土光郡守臨場之下。舉行鎭座式。又該校與爲發揚農民模範之二宮尊德翁盛德。特于校庭建立翁之銅像。亦已告竣。特於是日。行開幕典。禮。經東遊關係官民。參與其盛云。

大甲震災　建記念堂　按四月中竣工

臺中州大甲郡當局。爲合祀部下被大震災而死者。四百十餘名之生靈。特設震災紀念堂於被害最大之大甲街內。總工費參千圓。即州交付金五百圓。清水街負擔一千二百圓。其他左記七街庄。合計負擔千二百圓。其他左記七街庄。合計負擔千三百圓。其分擔金額如左。

▲大甲街三二〇圓　▲沙鹿庄二六〇圓　▲梧棲街二〇〇圓　▲外埔庄一五〇圓　▲大肚庄一二〇圓　右現在各街庄。極力募金中。而該庄長。象它。上旬竣工云。

兩無賴格鬪　罰拘十五天

嘉義市菜町人陳番。年二十八。鄭正順。年二十一。右兩名。去十五日午後十一時半。在市內西門町六丁目遊廓遊。春閣前路上。互誇張勢力。後各持凶器格鬪。適嘉義署。巡查派遣。署訊問後。各罰拘一。

斗六狂人砍死其父　其弟亦被所傷入院

臺南州斗六郡斗六街竹圍。七時。發大溪指南下列車。是夜在彰化一泊。十六日赴北港一泊。按十七日歸途。開街後一時半。在市內。西門町六。有四五十名。成紳百名。

現地戰術

臺南軍縮理部特校。十六日來決。在公會堂一泊。十七日經桃園北上。

斗六　舉祈年祭

臺南州斗六神社。月十七日。午前八時。在社前。由齋藤郡守。永田山田兩課長以下各團代表參列。嚴肅裡。祈年祭。午前中演畢。午後一時編開奏樂會。至四時散會。

深耕犁入

臺南州斗六郡。去十五日午後二時。在斗六街築公作業現場。由齋藤郡守。永田山田兩課長。齋藤郡守。永田山田兩課長。稱街長及諸來賓。會社方面。有永非支社理事。寺岡斗六派驗所派務主任。同山本農務主任。臨席之下。舉行深耕犁之式。先由山本農務主任發起。次之齋藤郡守代表演說。一同參觀作業實況。大移開祝宴。深耕犁百二百二十五馬力十時開。得深耕四甲步。此次會社。按豆粕八萬圓購入該具將。當局援助。擬對斗六。古坑管內看天田三千餘甲。漸次施行深耕。開土地之改良也。

屯墾勢壯團

臺南州斗六郡新開庄。于國語傳習所。

軍司令官　宴花蓮港官民　記念館

新川軍司令官。于臺東及玉里兩中隊檢閱後。十六日午後四時十五分。列車抵花蓮港。庭訪問同地。新任鈴木支廳長。由是親睦。其他。

時半開會。總督以下。官民出席者多數。至九時過散會。

商況（十七日）

米況

正米市況前場

△期米第一節

限月	最高	最低	仲値	前日比	商高	商低	出來
昭和十一年四月限	一〇五一	一〇四八	一〇五〇	一九	一〇五一	一〇四八	一二
同七月限	一〇四七	一〇四七	一〇四七		一〇四七	一〇四七	一

△期米第二節

限月	最高	最低	仲値	前日比	商高	商低	出來
昭和十一年四月限	一〇五一	一〇四八	一〇五〇	一九	一〇五一	一〇四八	一二
同七月限	一〇四七	一〇四七	一〇四七		一〇四七	一〇四七	一

期米

大阪期米前場

限月	最高	最低	仲値	前日比	商高	商低	出來
昭和十一年四月限	二一〇九	二一〇七	二一〇八	一	二一〇九	二一〇七	二
同五月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同六月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同七月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同八月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同九月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同十月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同十一月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同十二月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一

東京期米前場

限月	最高	最低	仲値	前日比	商高	商低	出來
昭和十一年四月限	二一〇九	二一〇七	二一〇八	一	二一〇九	二一〇七	二
同五月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同六月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九	二一〇九	一
同七月限	二一〇九	二一〇九	二一〇九	一	二一〇九

臺灣日日新報

本日夕刊共二十頁
春期野球人行及各種
和泉市北海 所行及
社盤新月日号及
岡 豊行一個割特
錢拾五圓乾行一個割
岡 貳行一込割(記

（明治卅九年九月廿日第三種郵便物認可）　昭和十一年十二月十八日　（閣議配給證）　第一万二千八百九十二號　A　（一）

○任期満了ニ付本日午前十時ヨリ臺北州協議會員候補者選舉會ヲ開催ス　臺北州知事　

首相と藏相起つて
政府の所信を闡明
きのふ日比谷公會堂 官營政談演說會
貿易港香港の衰勢頗る顯著
官營に重大な示唆を與へる
帝國も重大關心
英の態度奇怪！
香港を極東中心に對支權益を擴大
軍備充實もそのため
不可侵條約 斬手一蹴すべし
岡田首相の演說
全國民の協力を期待
一黨一派に偏せず
問題の臺電理事は 漸く內海知事に內定
退官發令は會社の總會期
第三國の介入は 日本としても反對
外務陸軍兩省で緊急協議
大田大使に再び重要訓令
調査會の委員設置
米海軍豫算 きのふ議會へ提出さる
大規模な要塞を 國府三ケ所に築造
白國から權威者招聘
臺銀の增配 今期も行はず
依然年三分に据置く
退官挨拶の爲 岡田信氏來臺
三月四日神戸發
高雄 現勅任待遇
候補者
化市の九年度 決算
貨乾法講習會 新竹郡で催す
シナチク
人事
金儲は器械の良否にあり
能率他機と雲泥 御比較を乞ふ
冷凍機界の第一位 米留久 星加冷凍機
齒痛、頭痛はカオガンに限る
ダンダンは風の妙藥
酒洋酒專門 伊田商店
アイスキャンデー ヒカル
臺灣籾摺業界の大革命 山本式自動撰別機 ヨシダ籾摺機
金儲は文明の利器使用にあり
今や申込殺到!! 切に据付を推奨す
臺灣出張所
眼科 森醫院
耳鼻喉科 宮島醫院
洋服 KO 高級 地治
逢坂屋商店

本年度の 世界砂糖需給

消費の方が生産より 百二十萬噸多い見込

【ロンドン十五日發本社特電】今期は現在の價値よりも遙かに高い相場を維持するそうである因なみにリビエラ會議に係る一九三五、六年度世界の砂糖需給概況は左の如く發表された（單位噸）

	生産高	消費高
一九三五、六年度	二五、五〇〇、〇〇〇	二六、七〇〇、〇〇〇
一九三四、五年度	二六、一〇〇、〇〇〇	二六、一〇〇、〇〇〇

四分の三阿弗だった、然し生産者は現在の價値よりも遙かに高い相場を維持しているそうである因なみにリビエラ會議に係る一九三五、六年度世界の砂糖需給概況は左の如く發表された（單位噸）

	生産高	消費高
一九三五、六年度	二五、五〇〇、〇〇〇	二六、七〇〇、〇〇〇
一九三四、五年度	二六、一〇〇、〇〇〇	二六、一〇〇、〇〇〇

製糖會社の 苦心も竝べる

兎に角得る所があった

大藏省、農林省當局は製糖業者の爲めに全島を巡行中だが

六月に竣功する 臺灣興業會社工場

原料採取が懸念さる

生絲は八百圓

生絲原料入荷による七月の横濱絲況は定期入荷高、先限七八百と一圓高、定期繰越八〇三圓二百と前年より八圓高、先限七八百と一圓高、定期繰越八〇三圓二百と前年より十五圓安、出來高は一日平均三千百俵と前年より二十圓高

實業大會決議事項 總督へ陳情

十七日實行委員が連袂公室に訪問

臺灣米庫利用組合總會

けふ役員會を開催す

臺灣米庫利用組合總會は第九回通常總會に提出すべき左記議案並に昭和十年度決算報告竝に一年度豫算案及び東京出張所に關係ある昭和十年度豫算組合大會出席者決定の件を協議するため十八日午後二時から臺北市江山樓に於て役員會を開催することとなった

一、昭和十年度財産目錄貸借對照表、損益計算書及剩餘金處分案
一、未拂金を以て組合に個人の出資口數を增加する件
一、利用料及賦課金徵收方法の件
一、脫退者に對する賦課金拂戻の件

島内現株相場

商況（十七日）

島内米肥

臺米現物相場

實業大會決議事項 總督へ陳情

十七日實行委員が連袂公室に訪問

臺北倉庫信用組合總會

臺北倉庫信用組合に於ては來る二十三日午後一時より臺北信用組合會議室上に於て第二回通常總會を開催左記事項を附議することになつた

一、昭和十年度營業報告書、決算書、剩餘金處分案竝に損失塡補の件
一、增加金額拂込徵收方法の件
一、一組合員に對して爲し得る貸付金額竝に貸付利率の件
一、臨時組合員の件

昭和製糖の實績

苗栗、沙鹿も歩留良好

玉井は一千噸に擴張

甘蔗

第一回

臺銀建値

臺灣米穀

株式

大阪短期後場

東京長期後場

東京短期後場

大阪長期後場

神戸期米後場

臺島兩建控除後含

臺島前場先限兩建控除主なる手振

臺島米況後場

臺島米況前場

高雄在庫米

基隆在庫米

正米

大阪綿絲況

大阪棉花

大阪人絹

横濱生絲

大阪清算

砂糖

大連特產前場

高雄青果總會

臺北組合銀行週報

淋病根本征服

前東京吉原遊廓吉原病院長 佐藤榮先生の發明創製

ブラオン銀 アンゴール の絶對偉力

綜合ホルモン クラブ美身クリーム

最近製造

世界に比類なき若返りクリーム

特許專賣

綜合ホルモン含有

本品は日本の誇りです！

人體の若返りホルモンが、遂に化粧品に含有されるに至つて美容界はその革命的な全く新らしい發明に驚倒いたしました。卽ち、現に發賣中の「最近製造」記號のあるクラブ美身クリームは世界的に類例のない專賣特許の綜合ホルモンを配合し、これを皮膚から吸收させて肌を若返らせると言ふ誇るべき性能を備へるに至つたのであります。從つて、クラブ美身クリームをお使ひになれば、根本的に人體の細胞機能を若返らせますから、科學的に何時迄も若さと美しさを保つことが出來るのであります。

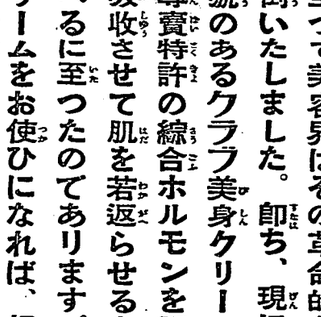
紹介ぬさ許を隨追の他に對

特長のこ

クラブ美身クリームは…

❶ **小皺、弛緩が出來ない**
世界的に全く比類のない專賣特許の若返り綜合ホルモンを含有して、ホルモンが皮膚から吸收されますから、肌を根本的に若返らせ、しわ、たるみを防ぎ若さと美の單刀のある肌に致します。

❷ **肌の荒れを防ぐ**
皮膚美容に重要な脂肪、其他肌を培ひ榮養する榮養料の配合によつて、肌に潤ひと艶を與へて、冬も肌の荒れるのを防ぎ、キメの濃やかなしやかな肌に致します。



❸ **理想的な白粉下になる**
白粉下としての特殊な原料を配合して居りますので不思議に白粉がムラなくつき、永持ちして化粧崩れが致しません。

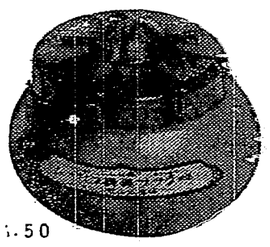
❹ **色を白くし美しくする**
更に驚くべき美白化作用を致しますから、これを日常お使ひになつて居れば、知らず知らずの中に色の白い魅惑的な美しい肌になります。

❺ **ひげ剃後クリームになる**
男子のひげ剃後にお使ひになれば、剃刀マケや荒れを防いで皮膚をとゝのへ、すべすべした肌にしますから、とてもサツパリした肌觸りになります。

30セン　40セン　50セン　80セン

見違へる程肌が若返るホルモンの神秘的効果

最近の美容界に絶讃を博しつゝある綜合ホルモンとは？



¥1.50

有含素酵臟膵 特專許 ・ ンモルホ度強 特專許

ムーリク美身クラク　薬用

十一年度の増税額
十八萬五千九百餘圓
堅實財政の樹立を目標とし
臺北市の豫算原案成る

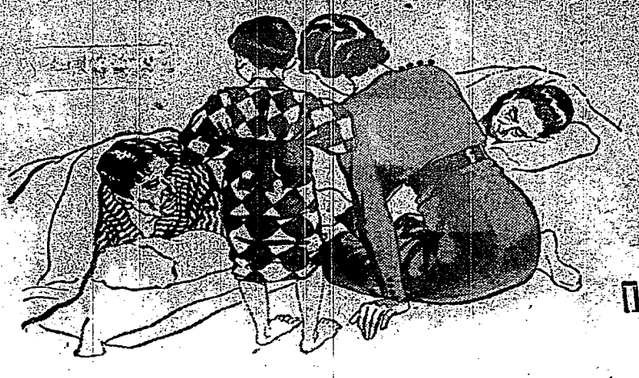
本稅の百分の二十を百分の二十に引上げその増税額一萬九千百八十七圓昭和二年度の増税額一萬九千百八十七圓昭和二年度の増税額一萬九千百八十七圓昭和二年度の

街に散る花

（62）

竹田敏彦作

寺本忠雄畫



明眸第一禍（八）

へると、実枝は急に晴れやかな顔になつて、

「私、學校をしまふわ」

「何故？」

「私、學校をしまふわ」

「何故？」

晉吉は驚いたやうに訊いた。

「晉さん許りがかゝりますから、私たちの學費には間情がありませんの。自分も、私かそれを反對したのが、實枝の氣に觸つていたのよ」

晉吉は、今日の實枝の言葉が、今日は何故かふつかり祝れてしまつた。

「でも、晉さんと一緒に通行してくれればいゝやないか」

晉吉の聲には、強い感情がこもられてゐた。

「實枝は、ほんとにとる事ばかりしか考へないやつだ」

「またあんなことを……私んな吾ん兒が可愛くはなれませんわ！　さあ、御飯にしませう。御飯にしませう」

實枝は、やつと聞いて、

「夕飯を濟ませて、子供を寢かしてから、ゆつくり祝れて話すことにしませう」

それから暫く祝に向つてゐたが、この苦しみを誰に訴へ、理解してくれる問題を見出すことも出來ないと、實枝は、孤獨の悲しさに、熱い涙を流すことにしられなかつた。その時ふと、

「肥休み中の祝線が、さぞいまゝでに祝れた。

「つや、折角の休みも、休めないのかね」

「いゝえ學校を止してしまはうかしら」

「馬鹿な事を言ふもんぢやない。學校を止してどうするんだ」

「晉さんが休暇を利用して、生徒と一緒に祝へ、個祝行なるつて出發を立てゝゐらしつたやうですけど、私の爲に中止にしてまひましたわ」

相手の實枝の言葉を聞いて、晉吉は、日の實枝の個人的な反發を買つてゐるのだと思つた。

「實枝

韓國獨立を策した 恐るべき義烈團

不穩計畫が未然に發覺す

有罪と決し記事解禁

【新京十七日發】新京地方法院檢察局に於ては昭和九年五月二十二日朝鮮獨立を目的とする國民府後援のもとに國權獨立を策し鮮滿各地において秘密結社を組織し暗躍中の義烈團一味の治安維持法違反並に殺人、強盗、放火、爆發物取締罰則違反被告事件に關しては豫ねて本件の重大性に鑑み嚴重なる警戒の下に公判に附せらるることとなつたので關係の檢事をはじめ關東廳檢事局、朝鮮總督府檢事局、新京檢事局の檢事總出で大連、奉天、吉林、ハルピン、新京、間島、羅南、清津、鎭南浦、京城、仁川、大邱、釜山、平壤、新義州等朝鮮滿洲の各地に於て一齊に檢擧した、檢擧された者は朝鮮人百餘名に上り檢擧後直ちに新京に護送され新京檢事局に於て嚴重なる取調べを遂げた上豫審に附されたものであるが、其の主なる者は次の如くである

義雄は　國境の被害者老母のタに馬乘になり暗手で頭を擲し枕下の經緯で頭を殴め恩の根を止めた。それから自分の腰床に潜り込んだ所へキクが歸つて來たので少し氣分が惡いから寢まで碑るお前も入れと引込み續いて入るやキクやタと同樣殺した上國境にあるタクの死體と並べて置いて工場からスコップを持出し納屋の空地を掘り二つの死體を埋れて土を被せ地を均し八時すぎ歸宅を終つたものである

朝鮮から視察に來臺

朝鮮總督府警務局長及各道警察部長會議出席の爲め來臺中の同局長一行五名は十七日午前八時半基隆着特別急行列車にて臺北に向つたが、同一行は十七日午後一時より總督府內會議室に於て開かれた臺灣總督府警務局長及各州廳警察部長會議に出席した後、十八日午後基隆發の汽船にて歸鮮の途に就く豫定である

朝鮮から視察に來臺

朝鮮總督府警務局長及各道警察部長會議出席の爲め來臺中の同局長一行五名は十七日午前八時半基隆着特別急行列車にて臺北に向つたが、同一行は十七日午後一時より總督府內會議室に於て開かれた臺灣總督府警務局長及各州廳警察部長會議に出席した後、十八日午後基隆發の汽船にて歸鮮の途に就く豫定である

廣岡氏が離臺

三井物產臺北支店長から神戶支店長に榮轉

廣岡氏が離臺

三井物產臺北支店長から神戶支店長に榮轉

滿座の中で侮辱され 一家鏖殺を決意

大阪市の惨虐事件の犯人 愈よ取調べを開始

【大阪十七日發】殺人放火強盜の惨虐事件は十七日午前十時半から捜査本部鳥越警部の指揮の下に現場の取調べが開始されたが、原因は養子二田善一に關する事で、善一は昨年十一月二十日頃より家出して行方不明であつたが、去る一月二十四日の夜半に突然歸宅し、其の夜は泊つて翌日の午前二時頃まで家族と共に酒を酌み交して居たが、其の際善一は養父母に對し「自分は今迄養父母から滿座の中で侮辱を受けた事があるので、何時か復讐の機會を狙つてゐたが、今日こそ其の機會を得たので、此の恨みを晴すために歸つて來た」と言ひ放つて再び家を出たが、其の後の消息は全く不明であつた

家は祝儀問題で不仲となつてゐたものを最近仲介者があつて和解することに決り一月二十日善一の妻を仲介者とともに迎へると善一は養家にお詫の手紙を送つたとの報告に接し、善一は養家に對する恨みを忘れ、再び家族と共に圓滿な家庭を營むものと信じ、二十一日朝から家族一同は善一の歸宅を待ち侘びてゐたが

首相藏相均自出講

即立日比谷公會堂

閘明政府方針

林大將 問一時間餘

次回眞崎大將

候補者違反 既達九名

南州青果 在羅山信組 開代議會

南方澳漁港半箇月 漁獲金額達十二萬 爲開港以來未曾有豐漁

米海軍 空大豫算

十七日提出議會

意神兩軍大激戰 意軍占安巴拉南城跡

硝子工業 新設會社

臺灣神社祈年祭 總督爲幣帛供進使 文武官民參列約二百名

北港畜産組合 變更組織

米價趨下 本年新廉價

臺東廳蕃社 改善施設 漸次見效

全島實業大會決議 諸實行委員訪總督 詳細說明內容及陳情

鐵道部賞與十萬圓 按廿日交于本人

舉閉會式

國際競技

本社於十七日 開取次店會

自動自轉車 追貨物自動車 遂與衝突

南州青果 服毒自殺

被双親所責

料理組合總會 獻金國防

畫報徵詩

題早起會 七律 不拘韻

督府部局長 定例會議 報告航空計畫

三無膛笛

大甲

協議日程

杉被盜伐

神祭講習

校長異動

嘉義 市後各路

注重交通

嘉義 簿設幼園

豚疫猖獗 防遏大費苦心

虎尾 創設懇話會

小說 新蕩寇志(廿一) 誤解情狀 幾釀禍端 (四)

詩壇

雜詠